

事務事業名 乳幼児予防接種事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1845

施策：	09	健康づくりの推進	財務コード	01040102-03-00
基本事業：	01	疾病の予防と健康管理	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	年1回健康診査を受けている市民の割合 がん検診を受けている市民の割合 女性特有のがん検診を受けている女性の割合 麻しん・風しん予防接種を受けている市民の割合		担当課	子育て支援課
			担当係	母子児童担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
予防接種法に基づく定期接種の対象者			<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種法に基づく定期接種の対象者に対して、実施医療機関で個別接種として実施。 ・定期予防接種の周知及び勧奨。（健康カレンダー、広報、HP、個別通知（日本脳炎1期・2期、MR2期、二混）） ・予防接種健康被害に関する業務（予防接種事故対応、予防接種健康被害給付等） 						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
予防接種の実施によって感染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	01年度当初	02年度要求	03年度計画	04年度計画	目標
予防接種実施数		人		24,100		24,000			
5. コスト									
事業費		計	千円	249,237	258,711	280,609			
		国	千円	0	0	0			
		県	千円	4,339	4,075	4,114			
		地方債	千円	0	0	0			
		その他一般	千円	0	0	0			
正職員人工数		人工	0	0.8	0.8				
正職員人件費		千円	0	6,471	6,452				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	0	255,708	265,163	280,609			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		< 状況 > 予防接種実施数は増加している。 < 原因 > 麻しん・風しんの流行により、感染の予防対策として、定期予防接種の啓発を強化したことにより、接種率が増加した。また、日本脳炎の定期予防接種年齢が低年齢化したことにより、予防接種実施数が増加した。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし		< 状況 > 定期接種のうち、日本脳炎第1期の接種年齢の低年齢化（3歳未満）が進んでいる。（国の推奨は3歳以降） < 原因 > 福岡県が日本脳炎の罹患リスクが高い県になっており、流行地域については、生後6カ月からの予防接種を小児科学会が推奨しているため。				
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
S23～予防接種法制定(定期予防接種は6疾患) H6～予防接種法改正され、定期予防接種は努力義務となる。 H25～予防接種法改正 H27～県外で予防接種を受けた人に接種費用の全部又は一部を助成する予防接種助成金交付事業を開始									
備考・特記事項 or 進行管理欄									